



# しずく いし

No.  
**117**

2021.4

●編集●  
広報広聴常任委員会  
●発行●  
岩手県雫石町議会

## 議会だより

●今号の主な内容

特集当初予算ここに注目…2

3月定例会…7

町政を問う

一般質問13議員が質問…10

常任委員会報告…20

ふるやまへの便り(83)…23

●今号の表紙／なかよしシリーズ12

「わたしたち3兄妹」…24

前田隆雄 議長

総合的な住みよい  
町づくり計画に期待



南畑コテージむらの  
未来像は

岡本忠美



ワクチン接種で  
新型コロナを卒業

古舘謙護



# 注目!

未来につなぐ  
農地再生応援事業

金子一男



和牛のオリンピック  
日本を目指して

坂井尚樹



子育て寺子屋  
運営業務

幅秀哉



新型コロナウイルス  
対応の経済的支援

徳田幸男



リニューアル道の駅

堂前義信





地方債年度末残高が  
積み増しされる

西田征洋



鶯宿温泉スポーツ  
エリア整備計画

横手寿明



昇瀬橋整備事業  
着手

大村昭東



町の強靱化対策  
きょうじん

岩持清美



アーチェリー、トラ  
ンポリンが町民ス  
ポーツとなること

上野三四一

令和3年度予算

ここに



稼ぐチカラ強化産業  
振興戦略支援業務

坂下栄一



デジタル化変革への  
取組と展開

加藤真純

次のページは  
令和3年度 予算特集



観光地域づくり法人  
(DMO<sup>※</sup>)の構築

杉澤敏明

※DMO…観光物件、自然、食、芸術・芸能、風習、風俗など当該地域にある観光資源に精通し、地域と協力して観光地域作りを行う法人

# 令和3年度予算特集

## 学びを通して 生きがいを感じるまち《教育》

**教**【金子委員】コミュニティス  
クール推進事業の内容は。

**答**【教育次長】学校評議員  
会を発展し、学校に対し

て地域の方や保護者の意見をさ  
らに反映しながら、  
特色ある学校づくり  
を、地域学校協働活  
動という新しい事業  
で進めていく。

**教**【幅委員】子育  
ち寺子屋事業

について、今後の方  
向性は。

**答**【教育次長】令  
和2年度、栗

石小学校の1年生か  
ら3年生を対象に栗  
石公民館で実施し  
た。来年度は御明神  
小学校に拡充してい  
く。今後、地域学校



基礎学力向上を期待する寺子屋

協働活動との関わりや、タブ  
レット端末の活用、児童館との  
整合性などの課題もあるが、子  
どもたちの基礎学力の向上につ  
ながるように進めていく。

**教**【横手委員】警備温泉スポー  
ツエリアについて、まだ

まだ栗石にアーチェリー競技、  
トランポリン競技とも根付いて  
いるとは言えないが、今後どの  
ように定着させるのか。

**答**【町長】アーチェリー競技  
については県内にアー

チェリー場といった施設はほと  
んど無い状態。今後、栗石中学  
校、栗石高校にアーチェリー部  
を作るなど競技人口を増やし、  
年配者でもできるスポーツなので  
普及させたい。トランポリン競技  
は、子どもの運動にすごく良いと  
聞いている。篤宿の活性化のため、  
このエリアを子どもから高齢者ま  
で利用できるよう整備していく。

**教**【坂下委員】栗石高校将来  
ビジョン推進事業につい

て、入学志願者が増えているの  
か事業の検証をするべきでは。

**答**【教育次長】令和2年度に  
事業を見直す計画となっ

ており、これまでも検討会を開  
催し、どうすれば中学生に栗石  
高校の魅力を感じてもらえるか

令和3年度予算特別委員会(杉澤敏明委員長、徳田幸男副委  
員長)は令和3年3月10日から4日間で行われ、一般会計他9  
会計について活発な議論が交わされました。  
ここでは、栗石町第三次総合計画に基づく施策大綱につい  
て、重点事業等の質疑を特集として取り上げました。

## いきいきとともにもに幸せを 感じるまち《保健・医療・福祉》

**保**【古館委員】令和2年度新  
規に開園したにじいろ保

育園(小規模保育園)は待機児  
童の解消につながったか。

**答**【子ども子育て  
支援室長】定

員10人に現在8人の  
児童が入園してお  
り、待機児童を減ら  
すことには大変効果  
があった。令和3年  
度の待機児童の状況  
については現在調整  
中だが、入園申込者  
数も昨年より減って  
いるので待機児童は  
少なくなる見込み。

**保**【加藤委員】老  
人憩いの家につ

いて、建物が老朽化

検討してきた。その中で、中学  
生と高校生との交流が無いとい  
う意見もあったので、今後の取  
り組みに取り入れていく。

**答**【政策推進課長】町民憩い  
の家と老人憩いの家の今後



新たな活用方針が検討される老人憩いの家

についてはこれまでも検討してきた。少し時間はかかるが活用方針を決定したい。

**保** 【徳田委員】 出産祝金支援事業について、他自治体では第3子以降に年10万円、7歳まで給付しているところもあるが、町でも増額の考えは。

**答** 【政策推進課長】 子育て支援はさまざま他の自治体でも取り組んでいる。町でも毎年出生数は減っている。原因はいろいろあると思うが、支援策を検討しよう。

**産** 【岡本委員】 網張地区専用水道維持補修工事補助金の基準は。

## 産業を通じて豊かさを実感し 笑顔で稼ぐまち《産業》

**答** 【上下水道課長】 令和2年度から住民組織によって運営されている。支援の要望があれば、修繕、改修費用の50%を補助する。

**産** 【坂井委員】 酪農ヘルパー利用安定化対策事業費補助金の利用状況と今後の見通しは。

**答** 【農林課長】 スマート農業※、関連で「ドローン3基、衛星測位システム付田植機1基合計4件であ

**保** 【上野委員】 健康増進事業について、健康台帳システムの改修費用が計上されているが、町民の健康管理はさまざまなデータを基に一体的に取り組むべきと思うが、そのようなシステム改修になるのか。

**答** 【健康子育て課長】 今回の計上は、ロタウイルスと新型コロナウイルスの予防接種に対応するためである。健康管理については、国で標準化に向けて取り組んでいるので、町でも令和3年度より取り組む予定としている。

**産** 【金子委員】 旧上長山小学校諸委託料の内容と利用者数等の目標は。

**答** 【観光商工課長】 貸しオフィス等の整備を4月以降に行い、利用計画等を立て利用事業者の公募を予定している。

**産** 【徳田委員】 空き店舗活用事業費補助金を、空き家対策として解体費用に活用できないか。

**答** 【観光商工課長】 個人財産に自治体からの支援や補助金を使うことは難しい。今後、国の補助金制度、町の制度等との整合性を取り検討する。

**産** 【岡本委員】 自然公園等保護管理事業で登山道にトイレを設置できないか。

**答** 【観光商工課長】 国立公園地内であり、トイレの管理等は県が計画的に行っているので強く要望していく。

**産** 【堂前委員】 ONSEN・ガストロノミーツーリズム<sup>※2</sup>の推進機構負担金の令和2年度実績と内容は。

**答** 【観光商工課長】 参加者は100名ほど。ケツパレランドをスタートして、鶯宿温泉の駐車場付近をゴールとしてさまざまなウォーキング事業を展開した。

**産** 【岩持委員】 定住促進住宅の住環境向上大規模改修工事の事業内容は。

**答** 【地域整備課長】 居室のサッシの取替え、二重サッシ化、換気設備、トイレを温水洗浄便座化、浴室、外付けのボイラー給湯等設備の改修。平成30年度9戸、令和元年度と2年度は2戸。3年度は16戸予定。令和5年度に終了予定である。

る。機械導入だけでなく、基盤整備も併せて考えている。  
※スマート農業：ロボット技術や情報通信技術等の先端技術の活用による新たな農業

**産** 【坂井委員】 全国和牛能力共進会出品支援事業費補助金の内容は。

**答** 【農林課長】 共進会に向け、指定交配の種つけ料や肥育農家に町とJA新しいわてが支援する。

**産** 【金子委員】 旧上長山小学校諸委託料の内容と利用者数等の目標は。

**答** 【観光商工課長】 貸しオフィス等の整備を4月以降に行い、利用計画等を立て利用事業者の公募を予定している。

**産** 【徳田委員】 空き店舗活用事業費補助金を、空き家対策として解体費用に活用できないか。

**答** 【観光商工課長】 個人財産に自治体からの支援や補助金を使うことは難しい。今後、国の補助金制度、町の制度等との整合性を取り検討する。

**産** 【岡本委員】 自然公園等保護管理事業で登山道にトイレを設置できないか。

**答** 【観光商工課長】 国立公園地内であり、トイレの管理等は県が計画的に行っているので強く要望していく。

**産** 【堂前委員】 ONSEN・ガストロノミーツーリズム<sup>※2</sup>の推進機構負担金の令和2年度実績と内容は。

**答** 【観光商工課長】 参加者は100名ほど。ケツパレランドをスタートして、鶯宿温泉の駐車場付近をゴールとしてさまざまなウォーキング事業を展開した。



省力化が期待されるスマート農業



鶯宿温泉への新たな観光客の誘致を期待

## 豊かで誇れる自然を守り育て 子どもたちにつないでいくまち《環境》

**環**【西田委員】外来植物駆除業務委託料、自然環境保全作業業務委託料、それぞれ駆除対象と保全対象は。

**環**【上野委員】令和4年度から家庭からのプラスチックゴミは一括回収となるが、その対策は。

**答**【環境対策室長】駆除対象は4年前から取り組んでいるオオハングソウ。保全対象は長山地区住民による町有地80ヘクタール内の希少種の植物を守っていく活動である。

**答**【環境対策室長】詳細な分類表がまだ国から示されていない。令和3年度示される分類表を見て、どのように処分するかを町と滝沢市とが連携し取り組んでいく。

**答**【環境対策室長】解体には多額の予算が必要となるので、検討していく。

**環**【大村委員】旧町ごみ焼却場は、廃墟のような状態なので解体するべきでは。

【環境対策室長】解体には多額の予算が必要となるので、検討していく。



駆除しなければならない外来種オオハングソウ

## みんながつながって 安全に住めるまち《安全安心》

**安**【横手委員】消防団員運転免許取得補助金の内容と対象者数は。

**答**【防災課長】平成19年、29年の道路交通法の改正で、若い団員が準中型車のポンプ車を運転できなくなった。免許取

得の必要性が生じ、オートマチック限定解除や準中型免許の取得、準中型5トン限定解除の費用補助金で、各分団配備の該当車両に絞って対象団員を支援する。対象者は10名程度である。

**安**【福委員】道路除排雪業務委託料の増額の理由と除雪に対する苦情の窓口は。

**答**【地域整備課長】近年の降雪の実情に合わせて増額した。苦情の窓口は地域整備課である。

**安**【岩持委員】下水道事業出資金の令和3年度の事業内容、今後の予定は。

**答**【上下水道課長】延伸工事は環状雪石線と鶯宿温泉線の交差点付近から旧南畑小学

校までの敷設を予定している。令和5年度までに完了予定である。

**安**【古館委員】街路等整備事業補助金の補助対象と実績は。市街地街路灯の助成の検討は。

**答**【防災課長】平成23年度から電気料を全額町負担している。補助対象は街路灯の支柱塗装費用である。令和2年度は実績はない。



町の安全は一人ひとりの力で

## 令和3年度 予算特別委員会 総括質疑

**総括**【岩持委員】人事において、係長制が復活したようだが、町長の意図するところは何か。

**答**【町長】現在、主査が多くなっており、業務確認の部署が少なく、報告が遅れる状況である。係長のところで一回業務確認し、さらに課長が確認するような体制とし、責任感を持たせるような体制とする。 ※他に堂前委員、大村委員が質問しました。



令和3年第1回雫石町議会臨時会 | 議決結果等一覧 会期：2月3日(水)

議案番号	議案名	議員名											議決結果				
		金子一男	坂井尚樹	徳田幸男	岡本忠美	古館謙護	幅秀哉	堂前義信	横手寿明	岩持清美	加藤眞純	杉澤敏明		西田征洋	大村昭東	上野三四二	坂下栄一
議案第1号	令和2年度雫石町一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 -…退席 ※前田議長は採決には加わりません。

新型コロナウイルス感染症予防接種事業の補正予算可決

令和3年第1回臨時議会が令和3年2月3日開かれ、令和2年度雫石町一般会計補正予算(第9号)を審議し、新型コロナウイルス感染症予防接種事業費944万8000円及び除雪事業費6400万円を可決しました。

主な質疑

Q(金子議員) 予防接種時の基礎疾患の把握は、

A 予防接種時の問診、予診票で基礎疾患を確認することを国から示されている。

Q(上野議員) ワクチンを保管するフリーザーが

A 無償譲与されると思うが、管理と薬品の扱いの責任は誰か。具体的な管理方法が今後国から示されるので、それに従いながら管理する。

Q(西田議員) PCR検査を町内でやるべきでは。

A 検査は、かかりつけ医で対応するよう県、国から通知が来ているので、町としてそれに従っている。

議決結果等一覧

令和3年第2回雫石町議会定例会 | 議決結果等一覧 会期：2月25日(木)～3月17日(水)

議案番号	議案名	議員名											議決結果			
		金子一男	坂井尚樹	徳田幸男	岡本忠美	古館謙護	幅秀哉	堂前義信	横手寿明	岩持清美	加藤眞純	杉澤敏明		西田征洋	大村昭東	上野三四二
議案第3号	雫石町介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第6号	令和2年度雫石町一般会計補正予算(第10号)	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第7号	令和2年度雫石町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第8号	令和2年度雫石町御明神財産区特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第10号	令和2年度雫石町介護保険事業勘定特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第11号	令和2年度雫石町介護保険介護サービス事業勘定特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第12号	令和2年度雫石町立雫石診療所特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第13号	令和2年度雫石町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第16号	令和3年度雫石町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第17号	令和3年度雫石町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第18号	令和3年度雫石町御明神財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第20号	令和3年度雫石町介護保険事業勘定特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第21号	令和3年度雫石町介護保険介護サービス事業勘定特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第22号	令和3年度雫石町立雫石診療所特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第23号	令和3年度雫石町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第30号	公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて(雫石銀河ステーション(農林産物直売・食材提供供給施設(レストラン)))	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	可決
(追加) 議案第32号	令和2年度雫石町一般会計補正予算(第11号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 -…退席 ※前田議長は採決には加わりません。

★その他の承認、議案、同意については、全議員が賛成いたしました。

# 安心安全や 産業振興 など進める

令和3年3月議会定例会は、2月25日から3月17日までの21日間の会期で行われました。

本定例会では、承認1件、条例5件、予算21件、契約1件、その他17件を審議しました。

令和3年度予算特別委員会（委員長 杉澤敏明、副委員長 徳田幸男）は、10件の当初予算を審議し、全て原案通り可決しました。

また、一般質問は、13人が登壇し、町民のために適切な町政運営が行われているか、町当局の考えをいただきました。

## 令和3年度当初予算

会計名	予算額(対前年比)
一般会計	99億9,000万0千円 (8億2,500万0千円増)
国民健康保険特別会計	18億2,100万0千円 (1億2,100万0千円増)
御明神財産区特別会計	1,413万2千円 (86万6千円増)
簡易水道事業特別会計	1,550万8千円 (84万1千円減)
介護保険事業勘定特別会計	19億8,120万1千円 (1,848万2千円増)
介護保険介護サービス事業勘定特別会計	998万6千円 (58万8千円増)
栗石町立栗石診療所特別会計	3億7,939万9千円 (2,916万4千円減)
後期高齢者医療特別会計	1億8,600万0千円 (1,100万0千円増)
水道事業会計	6億1,582万9千円 (8,723万4千円増)
下水道事業会計	13億5,894万2千円 (7,534万7千円増)
合計	163億7,199万7千円 (11億951万2千円増)

昇瀬橋架け替え工事  
消防団第5分団第5部屯所工事  
旧南畑小学校アーチエリー射場整備などに  
令和3年度予算  
総額163億7199万7千円を可決



# ここが変わる

## 七ツ森地域交流センター 条例の一部改正

七ツ森地域交流センターの運営は、今まで指定管理者が行っていましたが、指定管理者の団体が撤退することに伴って、町が直営で管理運営することになりました。

## 栗石町定住促進住宅条例の一部改正

定住促進住宅に入居する時は、連帯保証人が必要でしたが、家賃債務保証業者と契約することにより、連帯保証人に代えることができるようになりました。



借りやすくなった定住促進住宅

## 昇瀬橋工事 いよいよ始まる

狭小で危険な昇瀬橋の工事が令和3年から5年までの3年間、総額8億9千万円の工事費で行われ、大規模災害時の避難路、う回路が確保されることとなります。



待望の架け替え工事が進められる昇瀬橋

## 旧南畑小学校がアーチエリー場へ、設計始まる

旧南畑小学校は、町が進める「鶯宿温泉スポーツエリア構想」実現のため、県内随一のアーチエリー場へ向けて設計が始まります。鶯宿温泉エリアの活性化が期待されます。

# 討論要旨

町の借金が減ってきていないので

**反対**

〔西田征洋議員〕

町は地方債の年度末残高は少なくなっていくのが望ましいといっているが、ここ数年増え続けている。他にも農業問題、国民健康保険制度、介護保険制度、後期高齢者医療制度、栗石診療所にも問題がある。

町の課題解決や感染症対策などに取り組む

**賛成**

〔杉澤敏明議員〕

厳しい財政状況の中、町の課題解決や感染症・経済対策などに取り組み、町民の生活や生業を守り、行政サービスを維持する予算である。(他に、大村昭東議員が賛成討論しました)

# 指定管理

公の施設の指定管理者が決定

○栗石町農村資源活用施設 (そば打ち体験施設等)

NPO法人オール・カネー ジュ栗石(理事長 小志戸前和夫)に継続(指定期間4年間)

○栗石銀河ステーション

(売店・広場・駐車場)

(株)しずくいし(代表取締役 大橋良二)に継続(指定期間2年間)

○栗石銀河ステーション

(レストラン)

(有)ビー・ロック(代表取締役 幅秀哉)に継続(指定期間2年間)

○七ツ森地域交流センター

(株)コミュニティライフしずくいし(代表取締役 小志戸前恵悟)の指定期間を変更(令和3年3月31日までとする)

# 同意

新たな栗石町農業委員会委員11人全員の任命に全会一致で同意

氏名(敬称略)	行政区	再任新任の別	氏名(敬称略)	行政区	再任新任の別
堂屋 剛	まがき	新任	岡森喜与一	七区	再任4期目
まつノ木睦男	上和野	新任	山崎 忍	鶯宿	新任
ほそかわ ひとし	元御所	新任	新田 善男	天戸	再任2期目
木村 正美	下町一・二	再任4期目	山本 長栄	篠崎	再任3期目
ほつちよの 八丁野よし子	八丁野	再任3期目	ますざわ 誠一	柵沢	新任
さかした ちえこ	中沼	新任	-	-	-

新たな監査委員の選任に全会一致で同意

氏名：階 研太氏

行政区：中町一

任期：令和3年3月18日から令和7年3月17日までの4年間

人権擁護委員2名の推薦に適任であると答申

氏名：阿部直樹氏(再任)

行政区：安庭

氏名：鈴木 豊氏(新任)

行政区：晴山

# ここが聞きたい 一般質問 町政を問う 13議員が質問

一般質問は、議員が広く町政に関し報告や説明を求めたり、疑問をただしたりするものです。定例会ごとに実施されており、質問順は抽選で決定しています。

## 10 ページ ふるさと回帰支援センターの活動状況は

質問者／おかもとただみ岡本忠美 議員



## 12 ページ 農家経営の将来像は

質問者／はば ひでや幅 秀哉 議員



## 12 ページ コロナ収束後に向けた町の取り組みは

質問者／さか い なおき坂井尚樹 議員



## 12 ページ 令和3年度の重点事業は何か

質問者／すぎ さわ とし あき杉澤敏明 議員



## 14 ページ テレワーク※による移住促進は

※テレワーク…情報通信技術を活用した、場所と時間にとらわれない柔軟な働き方

質問者／どう ぜん よし のぶ堂前義信 議員



## 14 ページ 生活保護対策は

質問者／にし だ まさひろ西田征洋 議員



備開発は。

**Q** 新規就農者向け農地付き宅地分譲地であるコテージむらの、現状と今後の整備開発は。

**Q** コテージむらの現状と今後の展開は

している。

**A** 令和元年度は具体的な相談対応件数35件、ブース見学件数2925件となっている。

**Q** ふるさと回帰支援センターの活動状況はどうか。

**町長** 令和元年度の相談対応件数は35件

ふるさと回帰支援センターの活動状況は

質問者／おかもとただみ岡本忠美 議員

避難訓練は何回やってもいいことよ。災害は忘れた頃にやってくる。



14  
ページ

## 町のワクチン接種の実施計画は

質問者／<sup>うわのみよじ</sup>上野三四二 議員



16  
ページ

## 新型コロナのワクチン接種の終了時期は

質問者／<sup>かねこかずお</sup>金子一男 議員



16  
ページ

## 宿泊・飲食店事業者に新たな支援は

質問者／<sup>とくだゆきお</sup>徳田幸男 議員



16  
ページ

## 男女共同参画社会の実現は

質問者／<sup>ふるだてけんご</sup>古舘謙護 議員



18  
ページ

## 農業施設等の大雪被害は

質問者／<sup>いわもちきよみ</sup>岩持清美 議員



18  
ページ

## スマート自治体<sup>\*</sup>への組織体制の整備は

\*スマート自治体…業務のデジタル化により効率的に行政サービスを提供する自治体のこと

質問者／<sup>かとうますみ</sup>加藤眞純 議員



18  
ページ

## 町有地14ヘクタールプロジェクト推進管理は

質問者／<sup>おおむらしょうどう</sup>大村昭東 議員



4者が協力し販売方法を検討するコテージむら農場

**A** 95区画の販売計画のうち13区画の販売にとどまっております。平成26年以降は販売の実績がない。今後は、県主導のもと、町、農業公社、地元住民の4者が連携し、新たな展開に向けた検討を進める。

**Q** 町民への新防災マップの配布予定は。

**A** 新防災マップについては、出水期前をめどに全戸配布する。各自主防災組織で実施する避難訓練などの防災活動に活用し、防災情報の周知に努める。

**新防災マップの配布は**

雪もとけた  
さあ、でっかいたんぼで、  
でっかい夢ある農業を  
若者の出番だ

質問者／**幅 秀哉** 議員



## 農家経営の将来像は

**町長** より厳しい  
環境となることを危惧

**Q** 農家経営を強化するため、農業の形態を変えていかざるを得ないと思うがどう捉えているか。

**A** 人口減少や社会情勢の変化により、今後さらに深刻化するものと推測され、農家経営がより厳しい環境となるものと危惧している。令和3年度の重点事業として、生産コストの削減と作業効率向上を目指した圃場整備の立ち上げに、地域の農業者及び土地改良区と連携した支援を行っている。

東北DCが盛り上がり、町の経済回復の起爆剤になることを願います

質問者／**坂井尚樹** 議員



## コロナ収束後に向けた町の取り組みは

**町長** コロナ感染症対策や経済対策に取り組む

**Q** 令和3年度予算において、コロナ収束後を見据えた予算をどのように捉え、位置づけたか。

**A** コロナ感染症の影響により、税収のほか各譲与税や交付金の大幅な減収が見込まれている状況下にあっても、歳出や事業を削減することなく感染症対策や経済対策に取り組む。

**東北デスティネーション(大型観光)キャンペーンへの取り組みは**

観光振興には、観光地域づくり法人(DMO)の構築が不可欠だ

質問者／**杉澤敏明** 議員



## 令和3年度の重点事業は何か

**町長** 昇瀬橋の架け替え、道の駅の改修など

**Q** コロナ禍の中で、大幅な税収の減少が見込まれているが、令和3年度予算の重点事業の主なものは何か。

**A** 重点事業は橋梁新設改良事業の昇瀬橋架け替え工事で令和5年度までの継続事業である。次に、道の駅栗石あねつこの改修。新型コロナウイルス感染症のワクチン個別予防接種、町消防団第5分団第5部屯所建設工事、旧南畑小学校アーチエリー射場整備設計委託料である。

**Q** 現状の農業用ビニールハウスを有効活用し、新たな品種への取り組みや冬季のハウス活用策は。

**A** 産直組合員による冬季の春菊の栽培に試行的に取り組み、東京都内の惣菜業者へ出荷を行った。新たな作物への取り組みや、冬季の育苗ハウスや園芸ハウスの有効活用も視野に入れ、農業者の所得向上に向けた取り組みを応援していく。

### 新型コロナウイルス感染症の影響は

**Q** 児童、生徒の日常の変化や環境変化による精神面のフォロー体制は十分に取られているか。

**A** 令和2年度実施した学校アンケート、「心とからだの健康観察」等の諸調査や各学校の教員による子どもの見取り状況等から、町内の小学校においては、過大なストレスを感じている児童、生徒はいないと認識している。



活用を期待したいビニールハウス

**Q** 東北デスティネーションキャンペーンについて、町としてのタイアップは。

**A** 「ONSEN・ガストロノミーウォーキング」の開催を令和2年に続き9月に実施予定である。また、昨年より募集規模を広げ誘客拡大を図りたい。

### 防災無線の利用基準は

**Q** 令和2年12月に新型コロナウイルス感染者が確認された内容の周知を防災無線で行わなかった理由はなぜか。

**A** 防災無線は、町民に対して防災に関する情報、安全を守るためなど、各種情報を伝達できるよう管理運用規程に基づいている。

新型コロナウイルス感染症の情報は、県から公表される内容以外提供されておらず、町民の不安をおおるような周知は行わなかった。



大型観光キャンペーンで誘客を期待している

### 観光地域づくり組織(DMO)の取り組みは

**Q** (仮) 第二次栗石町観光・交流活性化行動計画(案)に「観光地域づくり組織(DMO)」の設置を優先して進める」とあるが、具体的にどう進めるのか。

**A** まず、「しずくしい観光協会」と「鶯宿温泉観光協会」の統合を進める必要があることから、早急に合意形成を進め、令和3年度に登録を目指す。

### 鶯宿温泉エリアの再活性化は

**Q** 「鶯宿温泉エリアの観光地域づくりへの参画による運営体制を強化する」とあるが、どう進めるのか。

**A** 令和2年度から鶯宿温泉に関わる宿泊事業者や関係団体、地域住民などによる「鶯宿温泉を語る会」を設置し、協議を進めている。その内容を踏まえて、温泉とエリアの魅力を活かした誘客の促進、温泉地の魅力を高めるための観光コンテンツの整備等に取り組む。



山といで湯のまち しずくしい 鶯宿温泉

議会改革の一環、議会だよりの紙面が大胆に変化。さらに良い広報誌目指します

質問者／堂前義信 議員



## テレワークによる移住促進は

**町長** 旧上小を環境整備、民間施設の整備も支援

**Q** テレワーク移住推進に取り組む自治体が増加しているが、町の取り組みは。

**A** 企業誘致と移住定住の促進を図るため、旧上長山小の無線LAN環境を整備する。また民間施設のワーケーション※環境の整備を支援する。

## 生活保護者への支援の取り組みは

**Q** 生活保護者への支援の取り組みはどうか。

生活保護の給付率は全国的に受給資格者の1～2割程度といわれていますヨネ

質問者／西田征洋 議員



## 生活保護対策は

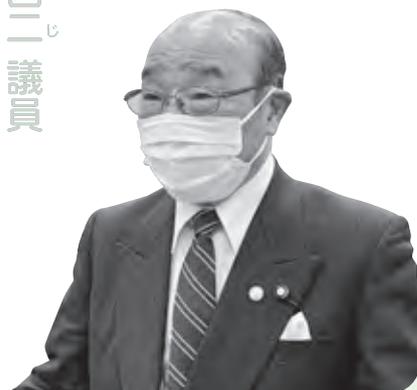
**町長** 相談件数が増加することを予想

**Q** コロナ禍により生活保護対策への関心が高まっているが、町の生活保護受給世帯の動向は。

**A** 令和3年1月末現在の町内生活保護世帯数は103世帯、受給人数は1119人となっている。受給世帯の動向については、平成30年度末は94世帯111人、令和元年度末は99世帯112人で、増加傾向にあるが、全体の約73%が65歳以上の高齢者である。

コロナで町民委縮している、新たな協働の町づくりが必要だ

質問者／上野三四二 議員



## 町のワクチン接種の実施計画は

**町長** 速やかに接種できるように医療機関と調整中

**Q** 町民へのワクチン接種の準備と実施計画はどうか。

**A** ワクチン接種の準備は国からの発表として、65歳以上の高齢者から始め、その後は基礎疾患を有する者、高齢者施設等の従事者、60歳から64歳の者、16歳以上の者と優先順位が示されている。接種時期を見定めることは困難な状況であることから、速やかに接種を行うことができるよう医療機関と協議している。

**A** 町の受給者は、高齢者世帯が多いことから、包括支援センター等と連携し必要な介護サービスを検討する。生活保護受給後の生活についても支援をする。

## 女性農業者の現状と支援策は

**Q** スマート農業等の進展に伴い女性農業者の増加が期待される。地域活性化に有効と思うが、女性農業者の現状と支援策はどうか。

**A** 認定農業者は、夫婦での共同認定が増えてきている。農業用機械のオペレーターや出荷作業、経理など、多くの女性農業者が活躍しており、その活動を継続支援する。  
※ワーケーション：観光地や帰省先など、自宅以外の休暇先で仕事をすること



Wi-Fiが整備される旧上長山小学校

**Q** 扶養照会は続けるのか。

**A** 生活保護を申請した場合、収入や資産の状況等を調査するとともに、親族に対して申請者に援助できるかを問い合わせる「扶養照会」を行う。

## 畜産農家への町の応援は

**Q** コロナ禍による影響が大きい、肥育農家、繁殖農家、酪農家への支援は怎么样了か。

**A** 肥育農家には、「肉用牛肥育経営安定緊急支援事業」、肥育素牛の導入に対する「肉用牛振興対策緊急支援事業」の経営継続の支援を行っている。繁殖農家に対しては、「繁殖農家の経営基盤の強化」と、栗石牛の産地としての「和牛繁殖基盤の強化」を指し、支援している。酪農家については、乳価の推移や生産費などを総合的に勘案した結果、現在のところ町としての支援は行っていない。



コロナ禍での対策も着実に



栗石診療所に設置されたディープフリーザー（超低温冷凍庫）

## 「コミュニティ・スクール<sup>※1</sup>」への取り組み状況は

**Q** 地域と学校が連携して「コミュニティ・スクール」が動き出しているが町の取り組みは。

**A** 令和3年度から導入したいと考えている。「地域学校協働活動<sup>※2</sup>」の取り組みとして、「栗石型コミュニティ・スクール」を目指す。

## ICT教育<sup>※3</sup>の状況は

**Q** ICT教育の教員スキルアップやモデル授業などを含めた準備状況は。

**A** 町の目指すICT教育の理念、導入するタブレット端末・ソフトを活用した授業を提供し、子どもたちのICT教育がスムーズにスタートできるように準備している。

※1コミュニティ・スクール：保護者や地域のニーズを反映させるために、地域住民が学校運営に参画できるようにする仕組み  
※2地域学校協働活動：幅広い地域住民等の参画を得て、「学校を核とした地域づくりを目指して」、地域と学校がパートナーとして連携・協働して行うさまざまな活動  
※3ICT教育：情報通信技術を活用した教育手法

希望者にワクチン接種が終わり、早く新型コロナも終わりにしたい

質問者／金子一男議員



### 新型コロナウイルスのワクチン接種の終了時期は

町長 流通の遅れなどから、見定め困難

Q 新型コロナウイルスのワクチン接種の開始見込みとスケジュールが示されたが、希望者にワクチン接種が終わる時期はいつか。

A 当初10月末での終了を見込んだが、ワクチン流通の遅れなどのため、高齢者への接種開始が約1カ月ずれ込んだ。具体的な終了時期を見定めることは非常に困難な状況である。

Q ワクチン接種の実施医療機関や接種順位などの情報提供及び相談窓口の開設は。

いじめアンケート、生活アンケートは個別にする必要があります

質問者／徳田幸男議員



### 宿泊・飲食店事業者に新たな支援は

町長 緊急経営支援金を補正計上



宿泊施設や飲食店等に新たな支援が必要

後退していませんか。男女共同参画社会の実現。めざせ！あねっこ輝く町！！

質問者／古館謙護議員



### 男女共同参画社会の実現は

町長 第3次男女共同参画プランを推進

Q 男女共同参画社会の実現は、今後も重要な課題である。第三次計画を定めて推進しているが、課題と見通しは。

A 令和2年度から令和6年度までを計画期間とする第三次東石町男女共同参画プランを策定し、推進している。住民・企業・団体等とともに取り組みを進め、性別に関わらず一人ひとりが尊重され誰もがチャレンジでき、個性や能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現を目指す。

**A** 町のホームページ

で、ワクチン接種の情報発信を開始し、広報3月号でも、掲載予定である。ワクチン接種の情報は日々刻々と変わるため、新しい情報はホームページ、基本的な内容は町広報やチラシの全戸配布で発信する。相談窓口は、3月中旬に健康センター内に専用ダイヤルを増設し開設する。



まもなくワクチン接種を開始

### ワンストップ窓口(総合窓口)の導入は

**Q** ワンストップ窓口は、転入や転出、出生、婚姻などの手続きの際、窓口をたらい回しにされず、負担は大幅に軽減される。導入を検討しては。

**A** 複数の窓口に立ち寄る必要がある手続きは、多くの場合で町民課が起点となっており、案内をしている。

また、高齢者などの移動が困難な方は、担当職員が移動するなどに対応している。今後も住民サービスの向上に努める。

**Q** 町の宿泊事業者・飲食店事業者に対する新たな支援策は。

**A** 本定例会にて、宿泊施設及び飲食店等を対象とした「緊急経営支援金」を補正予算として計上した。

### ひとり親世帯への相談体制は

**Q** ひとり親世帯では、親も子どもも孤立させないようにするため相談体制の強化が必要では。

**A** 県が作成した「ひとり親家庭のための支援策ガイドブック」を活用し、窓口担当課すべてが支援情報を持つ体制となるよう取り組む。

### いじめアンケート調査は

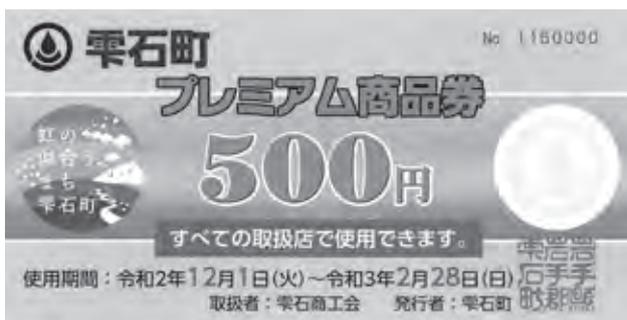
**Q** 児童生徒と保護者に対し実施しているいじめアンケート調査は、令和2年度に何回実施したのか。

**A** 保護者・児童生徒を対象に年数回程度、記名式あるいは無記名式で行うなど、それぞれの学校で工夫が行われている。

### 観光業や飲食業等への支援は

**Q** 2月12日現在、緊急事態宣言が10都府県で発令中であり、観光業や飲食業等への強力な支援が必要である。追加の緊急経済対策の内容は。また、町の緊急経済対策の成果は。

**A** 温泉宿泊事業者へは施設収容人員により30万円から300万円を、その他の宿泊施設には一律20万円、また、飲食店等には、売上が前年対比30%以上減少の店舗に一律30万円を緊急経営支援した。成果は、「しずくしいし旅行券」は、発行総額の97.8%の利用。飲食店等への支援策として「中小企業者等経営応援給付金」として187の町内中小事業者に対して一律30万円を給付。「栗石町プレミアム商品券」は、2月15日時点で発行総額1億2千万円のうち約9千500万円が使用された。



地元の商店から好評だったプレミアム商品券

網張地区地熱開発、町活性化のためにも実現を願う

質問者／岩持清美 議員



## 農業施設等の大雪被害は

**町長** 被害額推定は1655万円

**Q** 農業部門の大雪被害状況は。

**A** 農業者から被害報告を受けた。内容はビニールハウス、堆肥舎屋根、また格納庫と農業用機械の損壊等があり、推定被害額は1655万円である。

**Q** 農家への復旧支援はあるか。

**A** 被災された農業者個々の被害状況に応じた雪害支援事業で、国・県・町がそれぞれ負担し76・6パーセント補助率の事業

町は14ヘクタールプロジェクトの破綻を総括し、町民に報告する義務がある

質問者／加藤眞純 議員



## スマート自治体への組織体制の整備は

**町長** 令和3年度経験者を配置し、検討

**Q** 令和3年9月にデジタル庁が発足予定である。デジタル課などのような組織体制の整備が必要ではないか。

**A** 令和3年度にシステム開発経験者を政策推進課に配置し、手順書に基づいた作業行程の作成に対応し適正に推進できる体制を検討する。

## 電子入札制度の導入の考えは

**Q** 入札制度改革や談合防止上の観点からも電子入札制度の導入を進めるべきで

町有地14ヘクタール活用企て大失敗計画立案実行者政策頓挫の責任取るべし

質問者／大村昭東 議員



## 町有地14ヘクタールプロジェクト推進管理は

**町長** プロジェクトを中断

**Q** 町有地14ヘクタール活用プロジェクトの推進管理に、PDCAサイクルをどのように活用したのか。

**A** 町有地開発に取り組む民間事業者の撤退などを受け、事業計画の実現が困難と判断し、PDCAサイクルのDO(実行)の段階で、プロジェクトを中断した。

## 企業感覚の行政運営は

**Q** 町は企業感覚の行政運営であったと認識しているが、具体的に企業経営管理の何を取り入れ、その成果をどのように評価

で支援する。



大雪により損壊したビニールハウス

### 網張地区地熱開発の見通しは

**Q** 地球温暖化対策の面でも温室効果ガス  
の削減は急務である。特に地熱が注目  
されている中、大松倉山が掘削調査されたが  
令和3年度以降の事業計画は。

**A** 令和3年度は広範囲にわたる掘削調査  
を予定しており、並行して環境調査、  
温泉モニタリング調査及び微小地震観測の結  
果を取りまとめ、地熱資源量の評価につなげ  
る。それを踏まえて令和4年度以降計画を検  
討することになっていぬ。

はないか。

**A** 令和3年度から令和7年度までの「第  
2期みちのく広域連携都市ビジョン」  
の中で、盛岡市の導入事例をふまえながら広  
域8市町全体で電子入札の人員体制や費用負  
担等を含めて検討する。

### 交流センター利活用の今後の方針

**Q** セツ森地域交流センターの現在の利活  
用状況と今後の利活用方針はどうか。

**A** 交流センターの利用者数は、令和元年  
度は2047名、令和2年度は、1月  
末現在時点で2410名である。今後は、お  
試し居住や貸館などの業務を継続し、移住の  
相談窓口として移住・定住の促進を図る。地  
域住民や、移住した方、移住希望者の方々を  
対象に、交流  
が生まれる多  
様なコミュニ  
ティや生きが  
いづくりの場  
となる取り組  
みを進める。



デジタル化の整備が望まれる役場庁舎

検証したのか。

**A** 企業の経営管理の機能を取り入れたこ  
とはないが、第二次栗石町総合計画の  
主に「施策大綱4 産業力を高め合い活力み  
なざるまち」の施策で「民間企業との連携」  
や「民間活力の支援」などに取り組むことと  
している。

### コロナ時代の農業政策は

**Q** ポストコロナ時代の農業・農山村社会  
の変化にどのように対応するのか。

**A** 担い手へ支援のほか、小規模農家や兼  
業農家における世帯としての収入向上  
に向け、子や孫に引き継いで行くことが、町  
の農業・農山村の持続的発展の地盤になる。  
その実現に向け、農家に寄り添った支援を継  
続していく。



令和3年度から直営となるセツ森地域交流センター

## 調査 1 遊休農地の解消 農業委員会との意見交換会

11月27日、栗石町中央公民館大会議室で、昨今の厳しい農業情勢のなか、業務の重点である「遊休農地対策」について「農地法に基づく遊休農地に関する措置の概要」等の説明を受けた後、農地の有効活用などについて、意見交換を行いました。



遊休農地対策の必要性を共有

## 調査 2 米価下落と後継者不足が課題 JA新しいわて南部営農経済センターとの 意見交換会

2月10日、南部営農経済センターでJA新しいわての経営方針等の説明を受けた後、米穀園芸事業と畜産酪農事業の課題や今後の取り組みについて意見交換を行いました。



圃場の大規模化などで省力化を推進

## 調査 3 木材価格低迷が課題 盛岡広域森林組合との 意見交換会

3月8日、町役場で町内の森林の現況について説明を受けた後、私有林の整備状況や木材需要、林業従事者の現況など森林経営の課題と振興対策等について意見交換を行いました。



私有林の維持、発展が重要

## 研修 1 八幡平山系に係る 直轄砂防事業促進期成同盟会 関係市町議会議員研修会

2月5日、滝沢市のビッグルーフ滝沢大ホールで岩手河川国道事務所所長等から八幡平山系に係る直轄砂防事業の概要説明を受けました。

その後、「防災<sup>ぼうさい</sup>エンスショー～楽しく科学・伝える防災」と題した講演を受講しました。

**関係市町** 滝沢市、八幡平市、仙北市、栗石町



八幡平山系砂防事業の取り組み状況

## 広報広聴常任委員会

[堂前義信委員長]

議会だより

### 今号、117号より新しい紙面で発行

議会改革の一環として、議会だよりの紙面をどうするか、令和2年5月21日から令和3年3月11日まで22回にわたり協議してきました。

関係者からのご意見や広報研修・視察の内容を踏まえ、紙面を大幅に変更して発行することになりました。今後も、より良い議会だよりを目指して、委員一同努力していきます。



1字1句確認しながら編集作業をする委員

#### ○令和3年1月12日

議会だより第116号初校、議会だより編集規程と要領改訂および町民と議会との懇談会開催方法について協議しました。

#### ○令和3年1月18日

議会だより第116号再校

#### ○令和3年1月21日

議会だより第116号念校、町民と議会との懇談会開催方法について協議しました。

#### ○令和3年2月12日

議会だよりのレイアウトと町民と議会との懇談会開催方法について協議しました。

#### ○令和3年2月24日

議会だよりのレイアウト、議会だより第117号の編集日程等協議しました。

#### ○令和3年3月11日

議会だよりのレイアウトと町民と議会との懇談会開催方法について協議しました。

## 教育民生常任委員会

[横手寿明委員長]

調査  
1

待機児童の現状

### 令和元年度をピークに減少

子ども子育て支援室より待機児童の現状と令和2年6月から運営している、にじいろ保育園（小規模保育園）の運営状況について聞き取り調査しました。待機児童は、令和元年度をピークに入所申込者数、待機児童数ともに減少しており、令和3年4月入所の1次審査状況は、申込児童数67人、入所承諾児童数54人、入所保留児童数13人で、入所保留となった分について2次審査後に待機児童数が確定することを確認しました。

にじいろ保育園の運営状況については定員10人

に対し現在8人が入所しており、令和3年度に園庭の整備が予定されています。



待機児童解消につながるにじいろ保育園

調査  
2

地域運営組織の設立

### 協働による地域づくりの推進

地域づくり推進課より地域運営組織の形成に向けた取り組みについて聞き取り調査しました。これまでの取り組み経過として、4地区ごとの「地域づくり計画」策定と実践活動に対する支援を行ってきま

した。現在、地域運営組織の形成に向けた準備と検討を各地区で進めており、4地区一律ではなく、各地区の特性に合わせた組織形成を目指していることを確認しました。



ふじた さき  
藤田 彩希さん (8歳・天戸行政区)

## 冬の雫石

私は、冬の雫石が好きです。雪の積もった岩手山がとてもきれいで学校の図書館から見える景色が特に気に入っています。

雫石には、スキー場もあって、寒くても楽しいです。雫石に住んでいて良かったなと思います。



もりあい まさひと  
森合 栄仁さん (47歳・小松行政区)

## 柿木神社の土俵が大好きです

子供の頃から家の前の柿木神社で遊び、ちびっこ相撲、大人になってからは奉納相撲と、何度となく土俵に上がりました。

年を重ねる度に子供の頃に教えてもらった相撲の志が今も支えになっています。

自分の子供たちが同じ土俵に上がる姿はとてもほほ笑ましいです。

子供たちを育ててくれる柿木神社と雫石が大好きです。

皆さんの声を聞きました

No.12

議員が町内を歩いて  
皆さんの声を聴く VOICE シリーズ。

今回は「しずくいしのここが好き♡」です。



みうら きよこ  
三浦 喜代子さん (63歳・七ツ森・丸谷地行政区)

## 一年中、楽しんでいきます

子育てと、親の世話に適した環境だと思い、丸谷地を選び17年住んでいます。

大きい災害もなく、四季折々の風景は美しいし、温泉、スキー場も多く、一年中楽しめる所が大好きです。

何より雫石生まれの雫石育ちなので(大村)、誰よりも好きなんです!雫石!



きたぐち けんいち  
北口 健一さん (73歳・駅前行政区)

## 大好きな「山と温泉」

大震災の年の9月に秋田市から移住してきましたので、今年で10年になります。移住してから大好きな「山と温泉」を満喫していましたが昨年、膝を痛めたこともあり登山の機会も少なくなりました。現在は、週に3日位ゲートボールを楽しんでいます。

# 雫石からスタートした社会人生活



## ふるさとへの便り—83

たかはた みつぎ  
在京雫石町友会 会員 高畑 貢さん

私は七人兄弟の末っ子として生まれたが、甥や姪も年齢が近く兄弟のように育てられた。小学生のとき、父と兄と汽車に乗って盛岡まで行きスキーを買ってもらったが、交通量が多くて迷子になり、その上事故に遭い眼のふちを何針も縫った。「縫うのだけばやんた」と大泣きした痛い記憶がある。

中学、高校と運動が得意な活発な少年だった。ちょっと自慢になるが中学では野球部の投手で町内で優勝し、陸上も100mハードルで県大会決勝まで行き、町内駅伝大会でもトップでタスキを渡した記憶がある。

高校では山岳部で活動し毎週のように登山していたので土曜日は朝から登山の服装で汽車に乗って登校していた。高校3年の夏休みに東京にいた兄と北アルプス槍ヶ岳に登った。初めてみる日本アルプスの大パノラマは東北の山々にはない衝撃的な印象だった。

私の社会人生活は自宅からの盛岡通勤でスタートした。バスと汽車での通勤でしたが不便なので中古車を買って通勤した。昭和48年に中学の同級生と結婚、高前田町営住宅でお世話になり、その後親戚の皆さんのお世話になり下町に住まいを構え、妻（園子）は美容院をやりながら7年間住んだ。娘は雫石小学校に入学した時歌手の「福田こうへい」さ

んと同級生でした。

仕事は主に内勤で旅行の企画や切符の手配が主でしたが、入社して間もなく100人以上の盛岡市商店会の香港団体旅行に添乗員として同行したが言葉もあまりわからずに初めての海外旅行添乗経験でした。

東日本大震災では本震、余震と二度も家が半壊し、津波も近くまで来て被災した。幸いケガはなかったがショックで食物アレルギーになり現在も続いている。初孫が生まれて4日目のことで、娘と孫が入院していた病院も津波被害を受け、危機一髪のところで助かったことが今でも思い出される。毎年墓参りには帰省しているが、登山の思い出が多いふるさとの山々や景色はあたたかく迎えてくれる。この環境を守って管理してくださる故郷の皆様には感謝している。



古希祝い記念



槍ヶ岳登山（右が筆者）

昭和25年八区行政区生まれ 屋号「三蔵竈」上長山小学校—西山中学校—盛岡商業高校—近畿日本ツーリスト「盛岡営（15年）—秋田営（6年）—郡山営（5年）—仙台営（9年）—華の湯ホテル（秋保温泉）—宮城県名取市在住。子供二人、孫一人。

# 栗石町へようこそ

ご縁があり、町外から移住した「ご夫婦」

まえかわ しょう た  
前川 将太さん (34 歳) | 御明神谷地行政区 | ※宮古市出身

Q お二人の馴れ初めは？

A 共通の友人との食事会で知り合いました。同じ高校の先輩、後輩です。

Q 栗石町に暮らしてみて、いかがですか？

A 自然いっぱい、子どもたちをのびのびと育てられる町です。

Q 町に望むことは？

A 子育てしやすい町であってほしいです。子どもたちや親子が楽しめるイベントがたくさんあると嬉しいです。



左上が本人。右上が妻の麻衣さん (32 歳)  
前列左：海風さん (9 歳)  
前列中央：海晴さん (7 歳)  
前列右：海大さん (1 歳)

## なかよしシリーズ⑫

今月の  
表紙

写真左から  
宗志さん (12 歳)  
桜音さん (10 歳)  
咲音さん (7 歳)  
犬 ラク (3 歳)



よねざわ ひであき ひろみ  
米澤 英明さん (37 歳)、裕美さん (39 歳)  
(赤滝行政区) のお子さん、なかよし3きょう  
だいです。

将来の夢は何ですか？

長男 宗志さん：人の役に立つ仕事と家業を  
手伝えること

長女 桜音さん：物作りに携わる仕事

次女 咲音さん：動物に携わる仕事がしたい

## 情報公開

### ●議長交際費執行状況

【議長交際費とは】

議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

【議長交際費内訳 (1 月～3 月)】

月	葬祭費		お祝い、会費	
	件数	金額	件数	金額
1 月	0 件	0 円	0 件	0 円
2 月	1 件	20,000 円	0 件	0 円
3 月	0 件	0 円	0 件	0 円
合計	1 件	20,000 円	0 件	0 円

※議会の動きは HP に掲載しています。

### ■編集デスク

今回、議会改革の一環として議会だよりも大幅にリニューアルしました。どのようにしたら町民に親しまれる紙面になるか等、何度も協議を重ね、大変苦労してここまでたどり着き今号の発行となりました。いかがだったでしょうか。皆様方からのご感想をお待ちしております。

今後も、さまざまな情報をお届けし、皆様方に愛される議会だよりの編集に尽力していきます。

また、新型コロナウイルス感染症は第4波の襲来が懸念されますが、ワクチン接種も開始される見通しとなりました。町民一丸となって、この難局を乗り越えていきましょう。

(広報広聴常任委員：坂井尚樹)

発行責任者(議長)／前田隆雄

編集委員／幅 秀哉・古舘謙護

編集委員長／堂前義信

岡本忠美・坂井尚樹

副委員長／横手寿明

金子一男

【訂正とお詫び】

前号でふるさとへの便り-82の記事で佐々木勇人(ささきはやと)さんのふりがなを「ゆうと」と誤掲載していました。訂正しお詫びいたします。